51115150　5111515001　EH-01

φ80 KPチャンバートップGN-C　設置工事説明書

この製品を安全に設置・使用していただくため、下記のことを必ずお守りください。これらの項目は安全に関する重要な内容です。表示と意味は次の通りです。

表　示	意　　味
⚠危険	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示は本製品を安全・快適に使うため是非守って設置工事をしていただきたい事柄を示しています。

絵表示については次のような意味があります。

△　記号は注意を促す内容があることを告げるものです。△の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

⃠　記号は禁止の行為であることを告げるものです。⃠の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。

●　記号は行為を強制・指示する内容があることを告げるものです。●の中や近くに具体的な強制・指示内容が描かれています。

⚠危険

屋内に排気させない

- 排気の吹き出し口が屋外に位置するように設置してください。また、この給排気トップ周辺に囲い（波板等）や障害物は設置しないでください。一酸化中毒や火災の原因となり、大変危険です。

設置工事は専門の資格者が行う

- 機器本体及びこの製品の設置工事には専門の資格・技術が必要です。設置工事は必ずお買い上げの販売店に依頼し、お客様自身での設置工事は絶対に行わないでください。思わぬ事故となります。

設置工事をされる方へ

- この説明書と機器本体の設置工事説明書、「ガス機器の設置基準及び実務指針（日本ガス機器検査協会刊）をよくお読みになり、正しく設置工事を行ってください。この説明書及び機器本体の設置工事説明書に記載されている方法以外の方法による設置工事が原因で生じた事故及び損傷、人身事故等は設置工事者の責任となります。

⚠警告

特監法対象品です

- この製品は、「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」（特監法）の対象品です。この製品の設置工事は、ガス消費機器設置工事監督者が行なうか、その監督のもとに行い、工事終了後は法律で定められたラベルを指定された箇所に貼ってください。
- 燃焼機器を設置する場合は、建築基準法や火災予防条例に定める防火処置等に適合する必要があります。また当該地区の市・町・村等の火災予防条例にも従ってください。

1. 設置場所の確認・設置にあたっての注意

お客様とよくご相談の上、設置場所を決めてください。
この製品の対応壁厚は55mm～220mmです。

⚠警告

- 排気が屋内や隣家に入らない場所を選んで設置してください。
- この製品は、雨のかからない所に設置してください。
- この製品を、不燃材料以外の材料による仕上げをした貫通部に設置する場合は、貫通部を有効に防護してください。

⚠注意

一酸化炭素中毒、火災、事故の恐れあり

- 塩素、塩素化合物、硫黄、アンモニア、酸などの腐食性ガスが存在する場所、発生する可能性がある場所、それらを扱う場所には設置しないでください。
- 可燃性ガスが存在する場所、発生する可能性がある場所、ガソリン、ベンジン、接着剤など引火性の危険物の近辺、それらを扱う場所には設置しないでください。

壁内の設備に注意

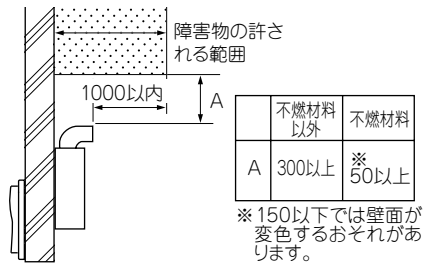
- 壁に穴を開ける場合は、電気配線、ガス、水道の配管などを傷つけないよう、これらの存在しない場所を選んで設置してください。

お願い

- 給排気トップの先端から水滴が出ることがあります。水滴が落下しても支障のない場所を選んで設置してください。
- 外気温によっては、排気が白い煙のように見えることがあります。なるべく排気が目に付かない場所を選んで設置してください。
- 排気が建物の外壁やアルミサッシなどに直接当たらない場所を選んで設置してください。変色や腐食の恐れがあります。
- 排気方向の1m以内に網入板ガラスがない場所を選んで設置してください。網入板ガラスの耐熱強度は一般ガラスの半分程度で割れやすいため、排気の熱で割れる恐れがあります。

2. 設置基準

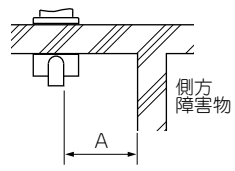
●前方および側方に障害物がない場合、上方障害物とは右図の離隔距離をとってください。



	不燃材料以外	不燃材料
A	300以上	※50以上

※150以下では壁面が変色するおそれがあります。

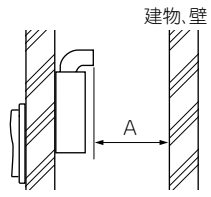
●前方に障害物がない場合、側方障害物とは右図の離隔距離をとってください。



	不燃材料以外	不燃材料
A	150以上	※100以上

※150以下では壁面が変色するおそれがあります。

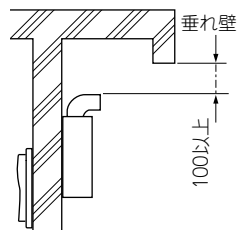
●上方・下方・側方に障害物がない場合、前方の障害物とは右図の離隔距離をとってください。



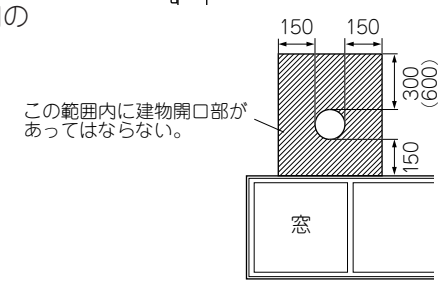
	不燃材料以外	不燃材料
A	600以上	※150以上

※600以下では壁面が変色するおそれがあります。

●前方の垂れ壁とは右図の離隔距離をとってください。

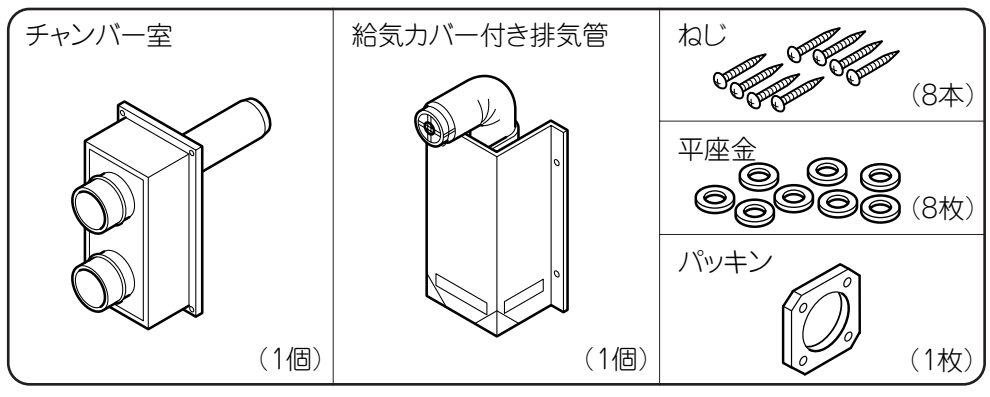


●周囲の建物開口部（窓等）とは右図の離隔距離をとってください。



3. 同梱品の確認

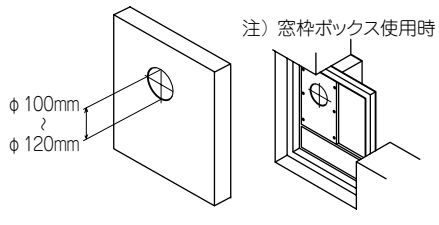
取り付ける前に部品の確認をしてください。



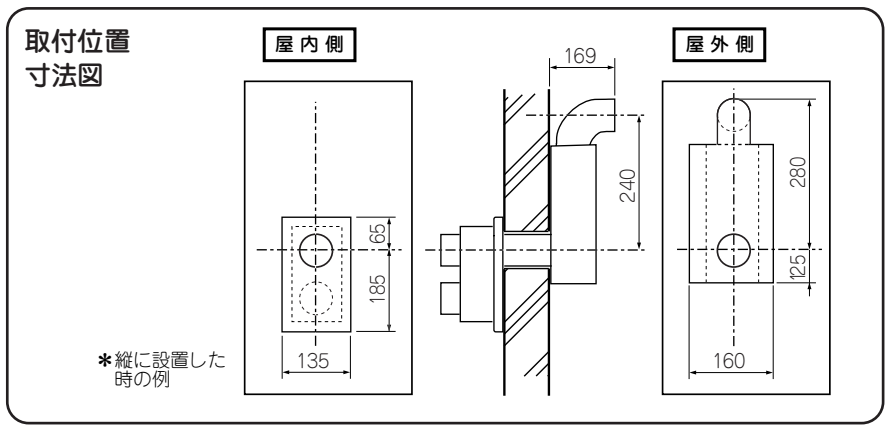
4. 設置方法

①壁にφ100～120の穴を開けます。

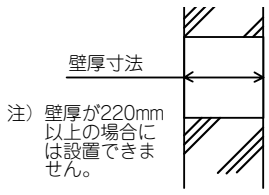
注）窓枠を改修して設置する場合は、別売の「窓枠ボックス110」または「窓枠ボックス70」が必要です。窓枠ボックスの工事説明書に従って施工してください。



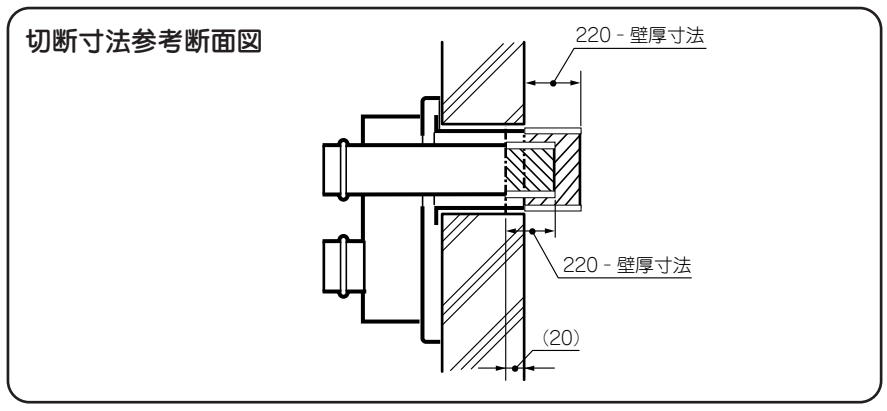
注）穴を開ける際は、後述の『取付位置寸法図』で、穴位置周辺に部品を取り付けるための平面があることを確認してください。また、『1. 設置場所の確認・設置にあたっての注意』、『2. 設置基準』で、周囲の環境、周辺の障害物、建物開口部等との位置関係も確認してください。



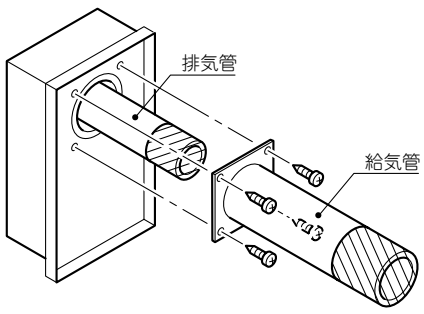
②壁穴の位置で壁厚を測定します。



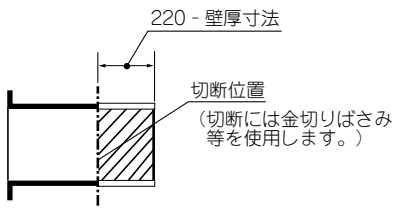
③壁厚寸法に合わせて給気管、排気管の切断を行います。



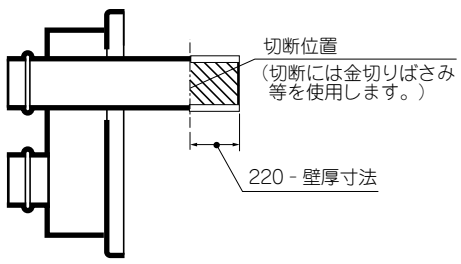
③-1　チャンバー室の４本のねじを外し､給気管を取り外します。



③-2 『 220－壁厚寸法 』で給気管を切断します。切断後バリ取りをしてください。
（給気管の長さ = 壁厚寸法となります。）

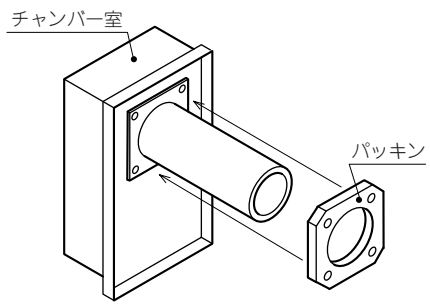


③-3 『 220－壁厚寸法 』で排気管の切断を行います。切断後バリ取りをしてください。
（排気管の長さ = 壁厚寸法－20となります。）

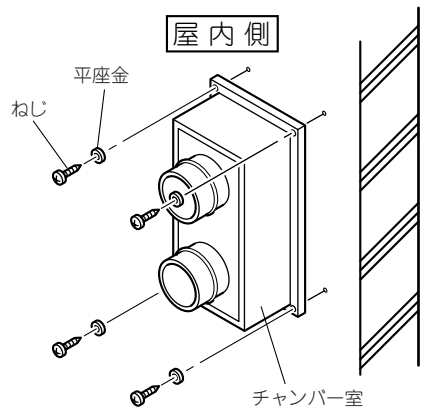


③-4　手順③-1で外した給気管を４本のねじで元通りに取り付けます。

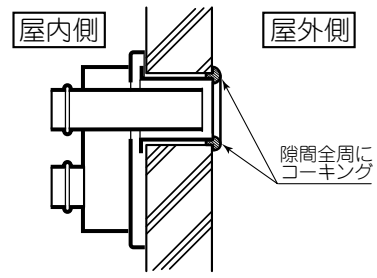
④パッキンのはくり紙をはがし、チャンバー室に貼り付けます。



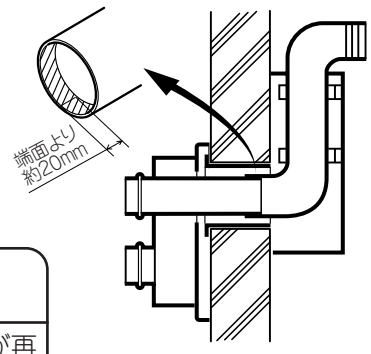
⑤屋内側の壁面に、チャンバー室を取り付けます。チャンバー室は、下穴（φ3.4）を４カ所開けてから、平座金をはさんで、ねじ４本で取り付けてください。



⑥屋外側より、給気管と壁穴面の隙間全周をコーキングします。



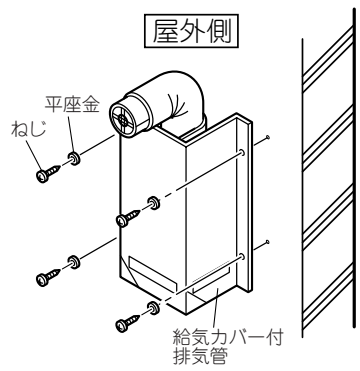
⑦給気カバー付排気管を取り付けます。給気カバー付排気管の排気管接続部端面より約20mmの内面全周にコーキング剤を塗布てください。
（コーキング剤は、セメダインシリコンシーラント8060　　色：クリアーまたは同等品を使用）



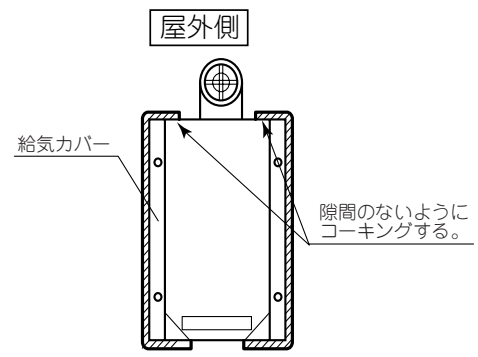
⚠ 注意

- ここのシールにもれがある場合、排気が再循環して、機器のCOセンサーが検知し、機器が止まってしまうことがあります。

⑧チャンバー室の排気管に、給気カバー付き排気管の排気管を差し込むようにして、給気カバー付き排気管を壁面に取り付けます。
（給気カバー付き排気管は、下穴（φ3.4、４ヵ所）を開けてから、平座金をはさんで、ねじ４本で取り付けます。）



⑨屋外側より、給気カバーと壁面の隙間全周をコーキングします。



5. 給気管・排気管との接続について

給気管・排気管との接続については、給気管・排気管あるいは機器本体に同梱の工事説明書を参照してください。

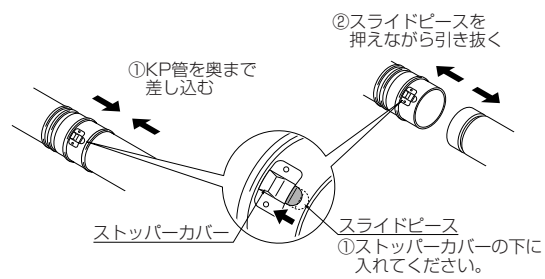
⚠ 警告

- 各排気筒は必ず当社別売のφ80KP管またはφ80 ONJ管を使用してください。
- φ80KP管・φ80 ONJ管は、絶対に切断しないでください。切断すると排気漏れの原因となります。
- 排気筒の各接続部は、KP管の場合はストッパービードにあたるまで、ONJ管の場合は「カチッ」と音がするまで、完全に差し込んでください。接続が不十分だと排気が漏れ、一酸化炭素中毒の原因となります。

- 表示ラベルに必要事項を記入し、指定された箇所に貼ってください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事事業者の氏名又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び施工年月日	年　月　日

KP管の外し方

①KP管をしっかり差し込み、スライドピースをストッパーカバーの下に入れてください。

②スライドピースを、動かないようしっかりと指で押さえた状態で、KP管を引き抜きます。